

平成25年度
私立学校初任者研修 全国研修会（西日本）
実施報告概要

本年度初任者研修全国研修会（西日本）は、10月18日（金）～10月19日（木）の2日間、神戸市の兵庫県私学会館で開催され、37名が参加した。

1日目は開会式に続いて、武蔵野東小学校、石橋恵二校長による講演「子どもの変化についての理解～発達障害と特別支援教育～」が行われ、指導の難しい子どもへの対応を話していただいた。

次に、当研究所の中川武夫所長が「教育政策の動向と私学の対応」と題し、現在の私学の置かれた厳しい状況をふまえて、私学教員としての心構えなどについて講義した。

夕食後は、少人数のグループに分かれての討議が行われた。各学校での生徒指導上の悩みや、授業の進め方などを、熱心に議論していた。



2日目は、午前中は東洋大学経営企画本部事務室参与の川合正氏と、群馬パース大学、原芳典講師による「学校教育相談とカウンセリング入門」で、生徒と教師の関わり、生徒同士の間人関係、揺れ動く思春期の複雑な心理を、教師はどう理解し指導していくか、教師に課せられた非常に重い課題を、実践的な話題を含めて示唆された。



午後からは、小学校教員と中学・高校教員に分かれての講義が行われた。

中学・高校教員は、元向上学園理事長の清水秀樹による「明日から役立つ生徒指導」を受講した。問題行動を起こす生徒への対応は、いつの時代でも教師達を悩まし続ける。そんな教育現場での実践的な事例への対応例を示された。

小学校教員は、当研究所の大森隆實専任研究員の、「明日から役立つ授業経営」を受講した。小学生に対する具体的な授業の進め方や、生活指導のあり方について、さまざまな事例を示しての、講義と討議がなされた。

閉会式では、当研究所の中川武夫所長による研修会の総括を交えた閉会挨拶の後、参加者代表に修了書が授与され2日間の研修会は終了した。